

教育論文を書くうえでの留意事項

- 1 別紙で目次を作成すること。(読む人が論文の構成を理解するうえで必要である)
- 2 研究の動機や感想については、本文の前と後に、「はじめに」「おわりに」を別紙で作成してもよい。この場合は募集規定に注意すること。
- 3 誤字脱字がないか、行の文頭の位置にずれがないかを点検すること。
- 4 法令や学習指導要領に使用されている用語を基本的に用いること。
- 5 文献やインターネット掲載を引用する場合は、許諾の必要性に留意し、引用した箇所と出所を明示すること。
- 6 研究主題の妥当性については、次の点に留意すること。

- ◇ 研究主題は、今日の教育課題及び学校の実態に沿ったものか
- ◇ 研究主題設定の理由となる数量的実態把握がなされているか
- ◇ 研究の仮説は、検証可能で焦点化されたものか

- 7 論理性については、次の点に留意すること。

- ◇ 主題設定の理由、主題の捉え方、仮設、研究の方法と内容、成果と課題は、整合、一貫した論述になっているか
- ◇ 自己の実践、実践に影響を受けた結果のデータ、客観性のあるデータに基づく考察がなされているか

- 8 創造性については、次の点に留意すること。

- ◇ 児童生徒のよりよい変容を目指した具体的な実践か
- ◇ 系統性、継続性、公平・中立性、独創性のある実践か

- 9 様式(1行の文字数、1ページの行数、文字ポイント、ページ数等)が募集規定に合致したものを点検すること。